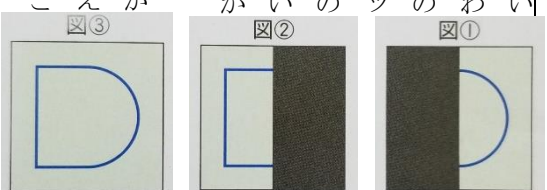


受験番号	
名 前	

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

次に大切なのは、メディアが伝えたことについて冷静に見直すだけでなく、①伝えていないことについても想像力を働かせることである。メディアは、ある出来事の特定の部分にスポットライトを当てて、わたしたちに情報を伝えている。明るいスポットライトの周囲には、必ず、見えない暗がりができる。その暗がりには、『何がかくれているかな。』と想像することも大切だ。この報道の場合、Aさんにばかりスポットライトが当たっていたら、「他の人が監督かんたくになる可能性はないのか。」と想像してみよう。具体的に別の監督候補を思いうかべられなくても、頭の中に、Aさん以外の可能性を残すことである。先ほどの図でいえば、図③を想像できなくても、図①や図②で、「円」や「四角形」の反対側に別の何かがかくれているかもしれない、と考えることが大切なのだ。

最後に、②いちばん大切なのは、結論を急がないことである。世の中の出来事には、さまざまな見方がある。新しい情報を聞けば聞くほど、想像力のスイッチが入れば入るほど、だんだんと多くのことが見えてきて、少しずつ事実の形が分かっていく。まずは一度落ち着いて、『まだ分からないよね。』と考えることが大切なのである。



結局、サッカーチームの次の監督には、別の人が選ばれた。Aさんは関係なかったのである。しかし、この期間、Aさんは多方面から注目され、Aさんに大きな仕事をたのもうとした会社が、「Aさんは監督になるから、いそがしくなるだろう。」と、他の人にその仕事のいらいを変更してしまうなどのことが起こった。

もちろん、この報道は、実際の出来事ではない。しかし、このように、思いこみや推測すさによってだれかを苦しめたり、だれかが不利益を受けたりすることは、実際に起こりうるのだ。

メディアは、わざとわたしたちをだましたり、あやまった思いこみをあたえたりしようとしているわけではない。少しでも早く、分かりやすく、情報を伝えようと工夫する中で、時に、思いこみにつながる表現になってしまうことがあるのだ。そんな思いこみを防ぐために、メディアの側も、情報を受け取るあなたの側も、それぞれに努力が必要なのである。

③あなたの努力は、「想像力のスイッチ」を入れることだ。 (下村健一「想像力のスイッチを入れよう」より)

問1 ①「伝えていないことについても想像力を働かせること」について、

- 一 筆者は、このことをどのように説明していますか。次の空らんにあてはまる言葉を書きなさい。  
スポットライトの周囲にできた ( ) に、 ( ) と想像すること。
- 二 Aさんの報道の場合では、どのように想像して見るのですか。 ( )

問2 ②「いちばん大切なのは、結論を急がないことである」について、

- 一 これと同じ内容を表している一文を書きなさい。 ( )
- 二 情報を受け取る場合に、結論を急がないことが大切なのはなぜですか。あてはまるものを一つ選び、記号に○をつけなさい。  
ア あわてて結論を出そうとすると、想像力のスイッチが入って、勝手な想像が広がってしまうから。  
イ 実際に現場に行って自分の目で確かめてみるまでは本当のことは分からないから。  
ウ 新しい情報を聞いて想像力を働かせるほど多くのことが見えてきて、少しずつ事実の形が分かってくるから。

問3 ③「あなたの努力は、「想像力のスイッチ」を入れることだ」とあるが、メディアの情報を受け取る際には、どの

ようなことを心がければよいですか。あなたの考えを書きなさい。

( )

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

聡子とんこは大きな声をだすのが苦手な母が、デパートの食品売り場で働く姿を見て、仕事をやめてほしいと頼むが、母はいやだと言う。

「だって、お母さんはパソコンをつかうような仕事をさがしてたじゃん。それに、自分が成長できるような仕事をしたいでしょ。全然やりたい仕事じゃないじゃん」  
聡子は目をそらそうとしないお母さんを、にらむように見つめかえた。

「そんなことないわ。苦手なことをやってみようと思っただの。できないじゃなくて、できるようになろうと思っただのよ」

聡子は①言葉を失った。

「十分に、成長できると思うのよ」

お母さんの言葉がとまらない。

「変わりたいのよ。お母さん、変わりたいの」

そう言いおわると、お母さんははずかしそうに、微笑ほほえんだ。

「そんなの、イヤ……」

聡子は自分でもなにを言ってるのかわからなくなっていた。考えてみてもなかった②お母さんの変わりように、パニックになっていた。

「どうして？」

( A )、お母さんはいつもどおりしずかだった。

「どうしても！子供がいやがってるんだから、やめてよ！」

小さな子供がだだをこねるようなことしか言えない自分が腹立たしい。

「ねえ、やめてよ！」

キンキンした声をあげて怒鳴りちらしてる自分がすぐかっこわるくて、泣きたくなる。

「やめて！」

すると、お父さんがゆっくり立ちあがって、聡子のそばに近づいてきた。

問1 ①「言葉を失った」とありますが、この表現は聡子のどんな様子を表していますか。次からあてはまるものを

一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 怒りをこらえている。

ウ 何を言おうか考えている。

イ 驚き、とまどっている。

エ 泣きそうになっている。

※問題はその三に続きます。

「聡子、どうしたんだ？」

お父さんは、聡子の方に手を置いて言った。

「どうしてそんなに怒ってるんだ？」

お父さんのやさしい声に、おもわず緊張きんちやうがゆるむ。

「こら、聡子らしくないぞ」

お父さんが、聡子の頭にげんこつをこつんとおせる。

聡子はキツとなって、お父さんをにらみつけた。そして、

げんこつをのせられたところをおさえて、おもいきり

大きな声で叫んだ。

「いたあーい！」

そう叫んだとたん、涙なみだが盛大にあふれた。聡子は頭を

おさえて、その場にしゃがみこんで泣きだした。 ①

「いたあーい！ いたあーい！ いたあーいよお！」

聡子は、本当はちっとも痛いたくない頭をかかえて、うず

まった。 ②

「いたあーい！ いたあーい！ いたあーい！」

( A )、それは嘘うそ泣きなんかじゃなかった。聡子は

痛いたかった。③痛いののは、頭あたまじゃなくて……。

聡子は泣きながら、④次々にいろんなことを思い出し

ていた。

学校で必死にのり子にあわせている自分。

どんなにいい成績をとっても、ほめてもらえない自分。

塾じゅくで、ひとりでも平気って顔している自分。

霧島きりしまくんに、友達を紹介してもらえない自分。

リサにあわせて、吉野家に通いつづけた自分。 ③

そのどれもが、かなしくて、つらくて、痛い。 ④

学校でいじめられてるわけじゃない。お父さんもお母

さんも、すごくやさしくしてくれる。勉強だつてできる

ほうだし、大きな病気もしてない。だから ( B ) なんて

ないはずだし、言っちゃいけないってわかってる。 ⑤

だけど、きれいにクロールできないときみたいに、苦

しい。うまく泳げない。気持ちよく泳げない。

(草野たき「ハッピーノート」より)

受験番号	
名前	

問2 ②「お母さんの変わりように」とありますが、お母さんはどのように変わったのですか。次からあてはまるものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 前はしずかに話していたが、大きな声でしゃべるようになった。
- イ パソコンをつかう仕事では成長できないと考えるようになった。
- ウ 苦手なことに挑戦して自分を変えようと考えるようになった。
- エ わざと聡子がいやがるようなことをするようになった。

問3 (A)にあてはまる言葉として適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア だから
- イ もう
- ウ きっと
- エ だけど

問4 ③「痛いのは、頭じゃなくて……」とありますが、どこが痛いのですか。漢字一字で考えて書きなさい。

( )

問5 ④「次々にいろんなことを思い出していた」とありますが、思い出した内容が具体的に書かれている部分を

文章中から抜き出し、最初と最後の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える)

、							

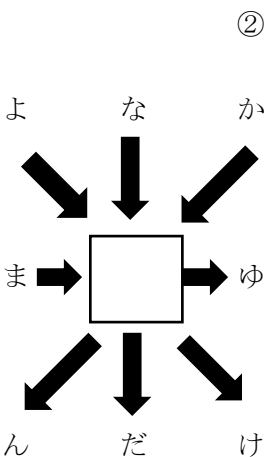
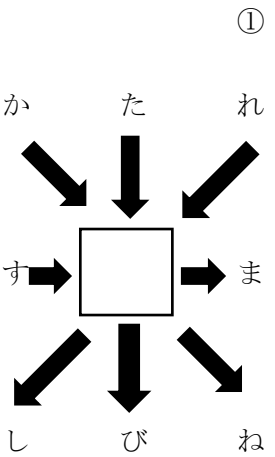
問6 (B)にあてはまる言葉として適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 不満
- イ ぜいたく
- ウ わがまま
- エ 反論

問7 この文章からは、次の一文が抜けている。文章中の①⑤のどこに入れたらよいか、記号で答えなさい。  
もう、ずっと前から痛かった。

( )

三 たて、横、ななめでそれぞれ三文字の言葉になるようにひらがな一文字を入れなさい。



四 次の文のぼう線部が修飾している部分を一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ① おじさんが 住んでいた ころは、まだ この あたりにも 畑が たくさん ありました。
- ア あたりにも
- イ 畑が
- ウ たくさん
- エ ありました
- ② どうやら 夏も 終わりを 告げたらしく、今では セミの 鳴き声も すっかり 聞こえなくなった。
- ア 終わりを
- イ 告げたらしく
- ウ すっかり
- エ 聞こえなくなった

